



東京部会 (第 50 回)	
日 時:	2012 年 6 月 12 日 (火) 19:00-21 : 00
場 所:	日本大学経済学部 7 号館 13 階会議室 3
参加者:	篠原(同志社大)、中川(日大)、加藤(日大)、新井(小石川中等教育)、大倉(松戸向陽高)、杉田(千葉西高)、高橋(桜修館中等教育)、升野(筑波大学附属中学校)、石山(東証)、榊原(東証)、中沖(清水書院)[順不同]
<p>【内容要旨】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新井先生と石山氏より、8月の「先生のための経済教室」の状況報告があった。広島の出席者が少ないこと以外は集客が順調であること、日本文教出版より教科書の配布があることなどが確認された。</li> <li>2. 新井先生より、入試問題プロジェクトの報告があった。それにかかわって、メンバー全員で現代社会と政経の現行教科書の市場にかんする記述を比較、吟味した。以前に比べて改善はされているものの、不自然な記述や疑問に感じる記述があることがわかった。</li> <li>3. 中川先生より、6月17日の「新学習指導要領における「法教育」のあり方を問う」シンポジウム(法と教育学会主催)で指定討論者として発表予定のスライドが配布された。タイトルは「効率と公正」、「幸福、正義、公正」経済学の考え方」で、効率と公正のトレードオフが生じない例を紹介され、それが生じるのは「へまな」所得再分配政策が実施された場合であると指摘された。たとえば、特定補助や過疎バスの補助金などである。また、「幸福、正義、公正」の考え方についても提案があった。</li> <li>4. 宮尾先生より、資料「需要供給の考え方を応用するクラス討論」が配布された(ご本人は不在)。議論するだけの時間がなく、紹介程度となった。</li> <li>5. 篠原先生より、年次大会のテーマをできるだけ早いうちに決めたいとのアナウンスがあった。倫理と経済学、道徳と経済学、あるいは効率と公正・正義の考え方、などという候補があるものの、まだ決着をみていない。</li> </ol> <p style="text-align: right;">(文責:加藤一誠)</p>	
<p>次回開催予定: 9月25日(火)19:00~21:00。場所は未定。議題は、夏の経済教室の反省、参加者からの活動報告、その他。</p>	